

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「幸せになる」という目的に向かい、安心のある生活と毎日楽しく一人一人を尊敬し、心と余裕のある介護に取り組んでいる。		管理者は、日々のミーティングの中で理念を意識して、一人ひとりにとってそれは具体的にどうということなのか、考えて話し合いの場を設けていく。
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	運営理念を述べるできない職員もいるが、笑顔を絶やす事の無いように努力している。		申し送りで理念の暗唱をしていたので、再度暗唱するようにしていく。管理者と職員が、理念を共有し実現できるよう、ミーティングの中で具体化した話し合いをしていく。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	利用者様の権利、義務を利用案内時の説明書や契約書にわかりやすく表示し、かつご家族様には折にふれ繰り返し伝えている。運営理念をホーム内の見やすい場所に明示し、入居者・家族に説明している。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	地域内にある商店の人に来て頂いたり、近くの理容・美容室を利用して日常的な付き合いができるよう努めている。外出・散歩などでは、近所の方々と挨拶や会話を楽しんでいる。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会行事のお祭り、盆踊りなどにも積極的に参加して、地元の人々との交流することに努めている。地域の方の見学も随時行っている。		町内会の会合に参加、通信を回覧し地域に理解して頂けるよう努めている。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	研修・ボランティアの受け入れ等を積極的に行っている。地域住民や見学者の訪問に答えている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>職員全員で自己評価に取り組み、外部評価の結果を活かし、サービスの向上に取り組んでいます。</p>	<p>評価の結果を踏まえて改善できる点を考えて計画し、会社・職員が一丸となり、より良いサービスを提供していきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>前回の運営推進会議で取り上げられた検討事項や懸案事項について一つひとつ話し合い、その結果を報告し、その意見をもらうようにしていきたい。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>札幌市の研修会、中央区グループホーム研修会に参加して交流を図っている。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人が必要な利用者様に対しては、事業所、管理者が対応するため、他の職員は理解していない。</p>	<p>必要な利用者様に支援できる体制が整っているが、他の職員も理解できるよう、成年後見人制度についての研修会に参加していきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待防止に関する意義は全職員が持っており、常に注意をし、防止の取り組みを行っている。</p>	<p>これからも虐待が見過ごされる事のないように話し合いを持ち、防止に努めたい。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居申し込み者やご家族等からの希望、生活歴、病歴、ADLなどを伺い入居要件を確認し充分検討して頂き、同意を得るようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様の意見、不満、苦情を記入できる意見ポストを設置している。利用者様の意見を反映できるよう職員間及び管理者と話し合いの場を持っている。</p>		<p>より良いサービスにつながるように話し合いの場を多くもち取組んでいきたい。</p>
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>はまなす便りを発行しており暮らしぶりを報告、ご家族様来訪時には健康状態、金銭管理等の報告、また電話・郵便等での報告もしています。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会を設け意見、不満、苦情を出せるようにしている。意見箱を設置しており意見、苦情等の改善、反映ができるようにしている。</p>		<p>毎年家族会を開催し、要望・意見など反映できるよう取組んでいきたい。</p>
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ユニット会議、スタッフノートを活用して個々の意見に耳を傾けながら、問いかけたり聞き出したりしている。必要な時は全体会議を開き、意見の交流を図っている。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>レクリエーション、病院受診などの状況の変化に応じ管理者とスタッフとの話しあいの上、人員の調整に努めている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>昨年度よりスキルアップのため、年一回、各ユニットから一人づつ異動が実施されました。スタッフ全員の声かけや気配りで、ダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修を受ける機会を作っており、順番に参加できるようにしています。</p>	<p>グループホーム中央区のスタッフ研修に、出来る限りスタッフ全員が参加できるように取組んでいきたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>札幌市中央区の管理者会議にその都度出席してネットワーク作り、勉強会などを通じてサービスの向上に取り組んでいる。</p>	<p>中央区の連絡会、他グループホームの事例検討会等に参加し、他事業所との経験交流を図り、ケアの向上に活かしていきます。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>運営者は日常や面談で職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。親睦会を開き職員同士でストレス解消になるようにしています。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者は現場にも来ており、職員の個々の業務や悩みを把握するよう努めています。</p>	<p>運営者は、現場へ足を運ぶ回数を増やし、職員ともっと交流を持つよう取組んでいきたい。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居するまで何度でも足を運んでいただき、本人の目でホームを見ていただく。不安なことは、その都度説明し、納得されるまで対応している。</p>	<p>言葉の少ない利用者の訴えを、どのように受け止めるか、気づきや観察する能力を高めたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族様来訪時、どんな事でも相談して頂けるように配慮してお話を伺えるよう努力してます。</p>	<p>利用者様、家族様にも安心して頂けるようにこれからもお話される機会を提供していきます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>どんな事でも、何回でもご相談に応じて、他のサービス利用も含めた対応に努めています。</p>		<p>家族様が相談できるように継続して支援していきたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>他の利用者様との交流も兼ねて、事業所見学をして頂きながらサービスの利用をして頂けるようにしている。</p>		<p>入居後、間もない頃の利用者様の不安感を理解して徐々にその場に馴染んで頂けるよう、さりげないサポートをして、他の利用者様との交流ができるようにしていきます。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>自分もいつかは介護される立場であることを、常に頭に入れ介護される立場に立って取り組むようにしています。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様と一緒に生活出来ないご家族様の事情等を考えてより良い支援ができるように話し合いケアプランを作成しています。</p>		<p>利用者様、ご家族様にとっても安心でき、信頼される関係を築いて行けるように取り組んでいきたい。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>今まで共に生活してきた利用者様とご家族様との事情について、入居時のアセスメントをもとに良い関係が築けるように取り組んでいる。</p>		<p>ご家族様に相談しながらより良い関係が築いていけるように支援していきたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用者が安心して生活できるよう、御家族と良く話し合って希望を取り入れ工夫している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者が孤立しないよう、職員が気配りしている。おやつ・レクリエーション等全員が参加で来るよう支援している。		利用者同士の会話はなかなかはずまないが、食事やゲーム・歌などを通じ和が持てるよう努力する。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後も必要に応じて情報提供しています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の表情や行動から意思の疎通に努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様、ご家族様のお話の中からこれまでの生活歴や馴染みの暮らし等の情報を得ています。		これまでの暮らしを把握し、取り入れることが出来ることは継続できるように取り組んでいきたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの一日の過ごし方や心身状態の変化を記録して暮らしの現状の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	自分らしく生活出来るように、ご本人やご家族様の要望を聞き職員全員で話し合い意見交換しながら介護計画を作成している。		画一的な計画ではなく、各利用者様に沿った個々の具体的な計画を作成していくように取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	ご本人やご家族様の要望を取り入れ、3ヶ月、6ヶ月ごとにケアプランを作成し、終了時には評価をして現状に即した見直しを行っています。		現状を把握した上で、即した新たな計画を作成して行けるよう取り組んでいる。
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やけあの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	利用者様一人ひとりの日々の様子、身体や精神の変化を介護記録や日誌に記録して介護計画の見直しに反映させています。		一人ひとりの日々の様子の変化、体調管理や身体機能低下等これからも注意しながら全員が情報を共有できるように取り組んでいる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご本人ご家族様の状況に応じて通院、買い物、送迎等の必要な支援は可能な限り柔軟に対応し、支援している。		ご家族様と連携を取りながら、可能な限りの支援をしていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	誕生会、音楽会、お芝居等にボランティアの皆様のご協力を得て行っています。消防署のご協力も得て年2回の消防避難訓練を行っています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ご本人の希望や体調に応じて訪問理容・美容サービスを利用していただいています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、情報交換、協力関係を築いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ医は、週1度往診してくれますが、入居者様の体調が悪いときは随時来てくれる。健康診断も年1回行っています。かかりつけ医の受診や往診、またご家族様が希望する医療機関での受診もされています。ご家族様が同行出来ない場合は、職員が代行しています。		地域にある入院可能な病院と近隣病院との連携を強め、入居者様の急な変化にも対応できるようにしている。現在、斎藤医院・厚生病院・南札幌病院・徳洲会病院・長野病院・さっぽろ在宅医療クリニック・タナカメディカルグループ等と協力関係にあります。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症に詳しい医師がおり主治医をお願いするとともに相談したり治療を受けられるよう支援しています。(斎藤医院・南札幌病院・さっぽろ在宅医療クリニック・タナカメディカルグループ)		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医院の看護師は、往診時に同行されるため、入居者様の健康状態を把握しており、気軽に相談できる。(斎藤医院・南札幌病院・さっぽろ在宅医療クリニック・タナカメディカルグループ)。当グループホームにて、看護師週2度確保している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、早期に退院ができるように努めている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご本人、ご家族様の意向と医師の診断をもとに話し合い、全員で方針を共有するように努めています。出来るだけ早い段階から検討していけるように、体制を整えている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	事業所のできる範囲内のケアを医師、看護師と連携を取りながら支援していけるよう職員全員で話し合い取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	施設内での生活情報を詳細に伝えるように努め、本人が環境になれて下さるよう住み替えによって考えられる問題点を話し合っている。		事情により移り住む際は現状況で可能な限り支援していきたい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	職員は利用者様を敬う気持ちを持っており、常に一人ひとりの人格を尊重した思いやりのある言葉かけや対応をしている。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	難しい言葉を避け、工夫しながら本人の思いや希望を引き出せる支援を、するように努めている。		本人の思いや希望の表現が困難な中でも、出来る限りの方法を検討しながら支援して行きたい。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や入浴、シーツ交換、散歩、レクリエーション等、一人ひとりのペースに合わせて、出来る限り希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	利用者の服装や、整髪など身だしなみに留意したケアをしている。理容美容は、月一回来所して頂き行っている。(特定非営利活動法人 日本理美容福祉協会)		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	一人ひとりの好みに合わせて、苦手なパンや麺類のメニューのときは、別メニューを提供しています。利用者様に合わせたペースで準備や片付けを行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒、たばこ等たしなむ方はありませんが、飲み物等、本人の嗜好に合わせてコーヒー、緑茶、ジュース等お出ししています。また、おやつも季節のフルーツ等をお出しして楽しんでいただいています。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりに合ったパターンを職員は把握しており、その人によって支援していません。自立されてる方も多く、自由に排泄出来るように支援している。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴は、スタッフの介助が必要なため、週2回入浴できるよう予定を組んで行っている。入居者様の体調や要望を聞き、なるべく入浴を楽しめるような支援をしている。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者様の睡眠のパターンを把握し、日中は散歩や体操で体を動かし一日の生活のリズムづくりをして、安眠や休息の支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	趣味や生活歴を生かして楽しみ事が出来る支援をしている。		昔の趣味がまた出来るように支援していきたい。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の希望や力に応じてお金を所持し、買い物等で使用出来るようにしており、生活に必要な能力をうばう事のないよう理解して支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	お花の咲く時は、お弁当を作って公園に出かけたり、食事会で回転すしを食べに行ったり、お祭り等戸外に出かけ楽しんで頂けるよう支援をしている。		冬期間でも外出できるように支援して行きたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	人間的にも遠出になると全員の希望する所へ行くことは難しいですが、ご家族様と相談しながら出来る限り支援している。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話は居室に設置されてる方もありますが、希望時にはいつでも利用して頂けるようになっております。手紙などは、自由に出せるよう支援しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族様や馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問が出来てゆっくり過ごして頂けるように心がけています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を開き、事故のおきない環境を整備しています。また、全職員は身体拘束禁止を正しく理解しており、身体拘束のないケアに取り組んでいます。		人間としての尊厳を常に考え身体機能の低下につながる身体拘束をゼロにするように、その原因を取り除くケアをこれからもして行きたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関の鍵はかけておらず、いつでも出入りが自由になっています。また、エレベーターや階段の扉は開けるとチャイムが鳴るようになっており、昼夜鍵のかけないケアに取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜通して利用者様の所在や様子を把握し夜間のトイレ歩行時見守りや誘導などして安全に配慮している。		各居室にコールを設置しており、安全に配慮している。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの状況に応じて危険防止をしています。(危険だからと全ての物の使用を禁止にはしていません。)薬や包丁に関しては安全な所で保管・管理しています。事故対策委員会を設置し、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人ひとりの心身の機能を把握し、事故が起きないように職員で共有しています。年に2回の火災避難訓練をしています。		事故対策委員会にて、一人ひとりの事故につながりやすいところを、職員で話し合いを持ち、事故防止の検討をしている。
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変や事故発生時には常に職員同士で応急手当等の連絡を取りながら管理者・医師の指示をうけている。人工呼吸・AEDの使用等、応急手当や初期対応の訓練を定期的実施している。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署の協力を得て避難経路の確認や、消火器の使い方避難訓練を年2回実施され、設備点検も定期的に行われている。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	御家族が安全を優先するあまり、歩行を制限し車椅子の利用を希望するが、自由な暮らしを大切にすることという事を事業者として取り組んでいるので、よく説明し理解を得られるように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>食欲、食事量、排泄など一般状態、バイタルチェック等で把握し、問題があると思われる時は細心の注意を払い、早期受診をするなど、速やかに情報を共有し、対応しています。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員は利用者様一人ひとり、それぞれの薬の目的・用法・用量を把握し、正しく服用できるように支援している。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>便秘の原因や体に及ぼす影響を理解し、牛乳やヨーグルト水分補給、体操等をして、便秘の予防に取り組んでいます。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後、口腔内のうがい・義歯の手入れ等を声かけや介助によって行っています。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量は全員、水分量は一人ひとりの状態に応じてチェック表に記入している。連日食事する量が少ない時は低栄養状態にならないよう職員間で話し合い支援している。</p>	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症についてのマニュアルがあり、インフルエンザ予防注射は、利用者様・職員全員がうけている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>献立、食材は外注されており、毎日朝に配達されてきます。食材はすぐに職員が、朝、昼、夕と仕分けして冷凍・冷蔵庫に保管し、新鮮で安全な食材の使用に心がけています。食中毒の発生しやすい夏場のみに限らず、年中衛生管理に努めている。台所、調理器具、おしぼり等は日々の衛生管理に努めています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関の横に看板を設置してグループホームとして判りやすくしました。また玄関の前にプランターに草花を植えて親しみやすい雰囲気作りをしています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>手作りの品・季節を感じさせる花等を簡素に飾り、不快な音や臭い光がないように配慮して居心地良く過ごして頂けるように工夫しています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂で談笑したり、雑誌、新聞、テレビを見たり自由に居場所を選び過ごしている。自由に移動できない方には、過ごしたい場所の希望を聞いて選んで頂いています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>絵画・写真などが飾られていたり、使い慣れた家具を自由に配置して、安心して居心地良く過ごして頂いています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>窓の開閉や空気清浄機・加湿器・扇風機・換気扇などを使用して適切に調節をしている。冷房がないので夏の暑い時は一階に行って涼んだり、氷を利用するなど工夫をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下・浴室・トイレ全てに手すりが設置されており、広い廊下もあり一人ひとりに合わせて、歩行器・車椅子・杖の使用も出来ようになっており安全に生活できるように工夫されている。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>居室の入り口には一人ひとり手作りの表札やのれんをかけたたりして、トイレ、お風呂等の場所もわかりやすくして混乱を防ぐ工夫をしています。</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関前にプランターを設置して草花を育てて、水やり・草取りを楽しんで頂けるようにしています。</p>	

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある <input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています <input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている <input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 <input type="radio"/> たまに ほとんどない

サービスの実績に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

『利用者様一人ひとりの個性を大切にして、支援しています。』

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

『幸せになる目的に向かい実践を行っている。』

『利用者様が、日々安全に楽しく、穏やかに生活できるように支援を行っています。』